

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 (フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「BRZ141 タイプB」をお伝えください。

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計) ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して日時を自動修正
- 温度、湿度に応じて注意報表示
- 暗くなると表示部を照明

お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。 (Y1209)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
●は、指示する行為を必ずすることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫 **禁止** 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

🚫 **禁止** 電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液に直接触れないでください。

●ゴム手袋をして電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

❗ **必ず守る** 電池の⊕⊖を正しく入れる
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

🚫 **禁止** 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

🚫 **禁止** 下記のような場所では使わない
部材の変形、変色、劣化により、品質や精度の低下、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

❗ **必ず守る** 液晶表示部が破損した場合は、素手でさわらない
万一、液晶材料が手などに付着した場合は、通常の石鹸で洗い流してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度範囲0～40℃)	アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)	アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 2個	アラーム音	電子音 (鳴り方が変化)
電池寿命	約1年 アラームを30秒/日鳴らし、 自動照明が7時間/日点灯した場合	音量	固定
電池交換時期	あり	スヌーズ機能	あり (止めても鳴る)
お知らせ機能	なし	オートストップ機能	あり (自動鳴り止め)
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正	カレンダー	2012～2099年対応
受信局	福島局 / 九州局自動選択	時刻表示形式	12時間/24時間 選択可能
受信ON/OFF	あり	照明	明暗センサーと連動して表示部を照明
受信回数	1日8回	温湿度	
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒	温度表示範囲	-9.9～50℃
防塵防滴機能	なし	温度の精度	±2℃
		湿度表示範囲	20～95%RH (湿度が5～50℃のとき)
		湿度の精度	±10%RH
		測定間隔	1分間隔

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 2個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (日時を標準電波で修正しない) **受信機能 ON (有効にして受信を開始する)**

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押す
OFFになるとリセットボタンを押しても「ピー」と受信を開始します。その後に戻るボタンを離して
と音が鳴らなくなります。標準電波を定期的に受信して標準
時に合わせます。

○日時は手動で合わせてください。

※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能はONになります。

※ON/OFFが切り替わらないときは操作を繰り返してください。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で日時やアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2012年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

各部の名称と役割

表示部は約27°の範囲で角度を調節できます。 リセットを押すときは爪楊枝など細いもので押す
△すき間に指を挟まないように注意。



明暗センサー（暗所自動点灯）
表示はアラーム
スイッチで変化 ON：アラーム時刻
OFF：月日または現在時刻

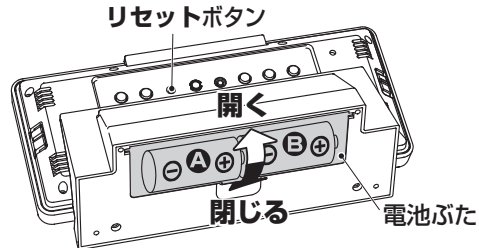
操作ボタン

戻る 進む リセット 時刻合わせ 強制受信 12H/24H 時刻/日付 モニター
アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用します。
誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押します。
手動で日時を合わせるときに使用します。
すぐに電波の受信を開始させたいときに押します。
時刻の表示形式切り替え。
時刻と日付の表示位置切り替え。
アラーム音の試験。

※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。 ※図は操作説明用ですので、実際
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。 のものと異なることがあります。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**【手動での時刻合わせ】**をお読みください。

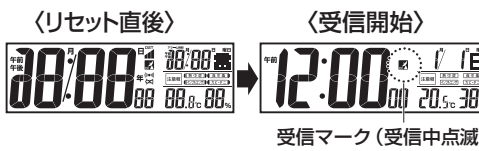


④の電池は、③の位置に入れてから横に移動。

電池を入れる

○電池を入れるときは、電池ふたを開閉してください。
○電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる。
※電池の⊕⊖を指示と異なる向きに入ると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
※電池を入ると短い電子音が鳴ります。短時間で電池を入れ替えると鳴らないことがあります。

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2012年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。

受信できない 受信しやすい



受信成功 受信失敗
受信マークが点灯 受信マークが消灯
正しい日時を表示。 日時は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

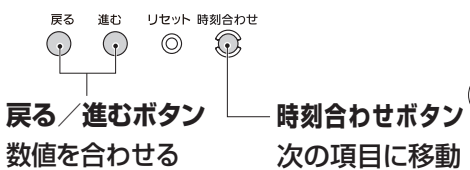
●場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面を向くようにしてから、リセットボタンを押して受信を試みてください。

標準電波を受信できないときは、手動で日時を合わせてご使用ください。

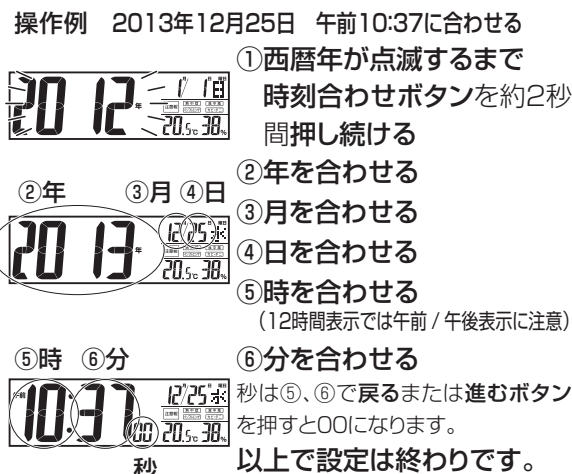
手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時・分）でのボタン操作
数値を戻るまたは進むボタンで合わせ
てから時刻合わせボタンを押します。
（裏面）



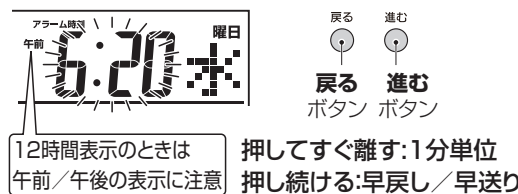
戻る／進むボタン 時刻合わせボタン
数値を合わせる 次の項目に移動
押してすぐ離す：1つ単位
押し続ける：早戻し／早送り
約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。



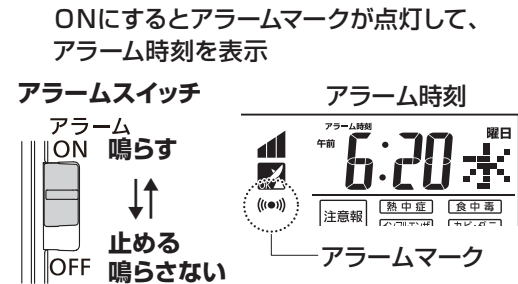
- 受信機能がONのときは、手動で設定しても受信に成功する日時を自動修正します。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

1 アラーム時刻を合わせる



2 アラームスイッチのON/OFF設定



アラーム音の試験

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。鳴っている途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。

表示部照明機能……暗所自動点灯

自動点灯スイッチ 自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサーと連動して暗くなると液晶表示面自動点灯 ON (入) を照明します。スヌーズボタンはライトボタンを兼ねていますので、押すと液晶表示面が約3秒間、自動点灯より明るく照明します。
●照明をしたときは、時計上方より見てください。
●明暗センサーは昼間や夜間照明時でも明るさが不足すると反応します。
●照明は電池の交換時期に近づくに従って暗くなります。暗いときは電池を交換してください。

ご注意 自動点灯は受信感度を上げるために、電波を受信しているときは消灯します。

時刻表示形式の切り替え

12H/24H ボタンを押すと切り替わります。
午前/午後付き 12時間表示
24時間表示 0:00 ~ 23:59 59

時刻、月日表示位置の切り替え

時刻/日付ボタンを押すと切り替わります。
時刻優先 日付優先
時刻表示 12:25 日付表示 10:37
コロンが1秒間隔で点滅

※表示の切り替えは、受信中、日時/アラーム時刻設定、アラーム状態のときは操作できません。

温度、湿度表示について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度と湿度を反映しにくくなります。また、設置する高さによっても温度、湿度が変わり注意報にも影響を与えます。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 湿度（相対湿度）
「HH.H」50℃より高温 「HH」95%より多湿
「LLL」-9.9℃未満 「LL」20%未満
「--」測定不可
※湿度は温度が5~50℃の範囲のときに表示。
※厳密な温度、湿度の管理、証明や商取引には使えません。

注意報（環境の目安表示）温度・湿度が注意すべき状態になると対象項目が()で囲まれます。

注意報 (熱中症) (食中毒) (インフルエンザ) (カビ・ダニ) 注意報（環境の目安表示）の項目は常に表示されています。左図では「インフルエンザ」が発生しやすい状態を表しています。

※表示は発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

熱中症 高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。
食中毒 梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、1. 菌を付けない（清潔にする） 2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する） 3. 菌を加熱などで殺す 対策が必要になります。

インフルエンザ 湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。
カビ・ダニ 一般にカビ・ダニ等は、室温20~30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。
電池の電圧確認は、1時間に1回行います。

注意 電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。